

問1 江戸幕府が大名に対して定めた「武家諸法度」は、長期にわたる安定した統治を目指すためのものでした。この法令が制定された主な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

1. 大名の軍事力を制限し、無断での城の補修や婚姻を禁じることで、反乱の芽を摘み統制を強めるため
2. キリスト教の布教を全国的に奨励し、南蛮貿易を盛んにすることで幕府の財政を潤すため
3. 農民の武器をすべて没収する「刀狩」を徹底させ、身分制度を完全に固定化するため
4. 大名同士が自由に同盟を組むことを奨励し、隣国との紛争を自主的に解決させるため

問2 平安時代末期、東北地方で栄えた奥州藤原氏のゆかりで建立された「白水阿弥陀堂」に見られる、当時の文化や宗教的背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)

1. 大陸との交易による富を背景に、宋の最新の建築技術を導入した大規模な瓦葺きの寺院である。
2. 武士の質実剛健な精神を反映し、装飾を極力排して禅宗の様式をいち早く取り入れた寺院として建立された。
3. 聖武天皇が仏教の力で国家を守るために全国に建立を命じた、国分寺の形式を忠実に再現している。
4. 阿弥陀如来にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う、浄土教（浄土信仰）の影響を受けて建立された。

問3 2020年の統計によると、東京都では昼間の人口が夜間の居住人口よりも約410万人多くなっています。このように、東京都において昼間人口が夜間人口を大幅に上回る主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)

1. 周辺の県にある工場へ、東京都から働きに出る人が非常に多いため。
2. 周辺の県から東京都にある職場や学校へ、通勤・通学する人が多いため。
3. 東京都の地価が周辺の県に比べて安く、夜間に居住する人が急増しているため。
4. 東京都では昼間に観光に訪れる外国人旅行者が、居住者よりも多いため。

問4 1960年前後、アフリカ大陸の多くの国々が欧米諸国の植民地支配から独立し、国際連合へ一斉に加盟したことは、その後の国際社会にどのような影響を与えましたか。その仕組みや背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 福島県公立入試 類似)

1. 加盟国が急増した混乱を避けるため、国際連合はアフリカ諸国の加盟を一時的に制限し、欧米諸国による委任統治を継続する方針を決定した。
2. 新興独立国の加盟が相次いだことで、国際連合総会におけるアジア・アフリカ諸国の発言力が強まり、植民地主義の廃止などが強く求められるようになった。
3. 独立した国々が南アメリカの諸国と協力して独自の軍事同盟を結んだため、国際連合は平和維持活動の機能を完全に停止させた。
4. アフリカ諸国が安全保障理事会の常任理事国をすべて占めることになり、それまで中心だった欧米諸国は国際連合から脱退した。

問5 資源循環型社会に向けた施策において、リユースやリサイクルよりも「リデュース」が優先されるべき理由と、その具体的な行動の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

1. ごみを資源として再処理することで、新たな原料の採掘を抑えることができるから。行動：使い終わったペットボトルを粉砕して、衣類の繊維にする。
2. 一度使用した製品をそのままの形で使い直すことが、最も環境への負荷が低いから。行動：空きびんを回収して洗浄し、再び飲み物を詰める。
3. ごみの発生自体を抑えることで、処理にかかるエネルギーや資源の消費を最も効率的に減らせるから。行動：マイバッグを持参し、過剰な包装を断る。
4. 身近な製品の寿命を延ばすことが、消費者の経済的負担を最も軽減するから。行動：壊れた家電製品を修理して、長く使い続ける。

問6 1932年に建国された満洲国をめぐる当時の国際情勢や背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 中国の国民政府による承認をいち早く得たことで、アジア諸国との友好関係が深まった。
2. 日本国内の世論は満洲進出に強く反対しており、建国は国民の支持を全く得られなかった。
3. 国際連盟から派遣されたリットン調査団によって建国の正当性が認められ、国際的に承認された。
4. 清朝最後の皇帝である溥儀を元首に立てたが、政治の実権は日本の関東軍が握っていた。

問7 中国における農産物の生産地域の特色について述べた文として、自然環境（気候）との関係からみて最も適切なものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 寒冷な気候である北部で米の二期作が行われ、温暖な南部で小麦の栽培が集中している。
2. 内陸部の乾燥地帯で大規模な稲作が行われ、沿岸の湿潤な地域で小麦の輸出用栽培が行われている。
3. 降水量の多い長江流域など南部では稲作が盛んで、比較的乾燥した華北平原など北部では小麦の生産が盛んである。
4. 地形が平坦な全土で米と小麦が均一に生産されており、地域による明確な作り分けは見られない。

問8 日本の政府開発援助（ODA）では、道路や橋などの建設だけでなく、現地の専門家を育成する「技術協力」や、日本の知識を伝える「人材育成」が重視されています。このように、単なる資金援助にとどまらない取り組みを行う主な目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 福島県公立入試 類似)

1. 開発途上国の領土を日本の管理下に置き、日本の領土を拡大するため
2. 民間企業がその地域の市場に一切参入できないように制限するため
3. 援助先の国の政治体制を日本と全く同じものに強制的に変更させるため
4. 開発途上国が自らの力で経済的な自立を果たし、持続可能な発展を行えるようにするため

問9 江戸幕府が大名に対して、一年おきに江戸と領地を往復させ、さらに妻子を江戸に住ませる制度を設けた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)

1. 江戸の特産品を全国に流通させ、国内の商業を活性化させるため
2. 大名の領地における農民の反乱を、幕府が直接鎮圧するため
3. 大名の武力を強化させ、海外からの侵攻に備えるため
4. 大名に多額の費用を負担させて経済力を削ぎ、反乱を防止するため

問10 ある地域の統計資料において、月平均気温が年間を通して30度前後で一定しており、なおかつ各月の降水量が200mmから300mmを超える非常に多い数値を示している場合、その地域の自然環境や人々の生活の説明として正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

1. 乾季に備えて、地下に「カナート」と呼ばれる水路を築いて農業を行う
2. 多種多様な常緑広葉樹が密生する熱帯雨林が広がっている
3. 樹木が育たないため、丈の長い草が広がる草原（サバナ）を利用して牧畜を行う
4. わずかな夏季にのみ地表の氷が溶け、苔（こけ）類が成長する

問11 明治政府の成立過程において、1867年末に出された「王政復古の大纲令」の目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 全国の藩主の領地と領民を天皇に返還させ、中央集権体制の基礎を固めること
2. 幕府を完全に廃止し、天皇の下に新しい役職を設けて権力を一本化すること
3. 徳川慶喜に政権を返上させることで、内乱を避けつつ平和的に政治体制を改めること
4. 新政府が欧米列強と対等に渡り合うための、近代的な議会開設を約束すること

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                                 |                                                                                                                                                                                                       |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 1<br>大名の軍勢力を制限し、無断での城の補修や婚姻を禁じることで、反乱の芽を摘み統制を強めるため                           | 徳川家康が始めた江戸幕府の安定には、有力な大名による反乱を防ぐことが不可欠でした。武家諸法度は、城の増改築を許可制にしたり、大名同士の勝手な結婚を禁じたりすることで、各藩の軍勢力拡大を抑制しました。これにより、全国一律の統制が可能となり、長期の平和な時代が築かれました。                                                               |
| 問2  | 答え 4<br>阿弥陀如来にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変われることを願う、浄土教（浄土信仰）の影響を受けて建立された。                   | 平安時代末期には、末法思想の広がりとともに、念仏を唱えて極楽浄土への往生を願う「浄土教」が流行しました。白水阿弥陀堂は、奥州藤原氏の本拠地であった平泉の中尊寺金色堂や、宇治の平等院鳳凰堂などと同様、浄土教建築の代表的な遺構です。庭園と建物が調和した造りは、現世に極楽浄土を再現しようとした当時の考え方を反映しています。                                       |
| 問3  | 答え 2<br>周辺の県から東京都にある職場や学校へ、通勤・通学する人が多いため。                                       | 東京都は政治・経済・教育の中心地であり、オフィスや学校が集中しています。そのため、夜間は周辺の神奈川県、埼玉県、千葉県などの自宅（常住地）で過ごす人々が、昼間になると仕事（通勤）や学業（通学）のために一斉に東京都内へ流入します。この結果、東京都の昼間人口は夜間人口を大きく上回ることになります。                                                   |
| 問4  | 答え 2<br>新興独立国の加盟が相次いだことで、国際連合総会におけるアジア・アフリカ諸国の発言力が強まり、植民地主義の廃止などが強く求められるようになった。 | 多数の独立国が誕生し国際連合に加盟したことで、一国一票の投票権を持つ総会において、発展途上国の意見が無視できないものとなりました。これにより、植民地解放の促進や人種差別撤廃、南北問題の解決といった課題が国際政治の重要なテーマとして扱われるようになりました。                                                                      |
| 問5  | 答え 3<br>ごみの発生自体を抑えることで、処理にかかるエネルギーや資源の消費を最も効率的に減らせるから。行動：マイバッグを持参し、過剰な包装を断る。    | リデュースは「発生抑制」を意味し、ごみが出てから対処するのではなく、最初から出さないことを目指します。これにより、リサイクルのように再資源化のためにエネルギーを使う必要もなくなるため、環境負荷を低減する効果が非常に高いと考えられています。過剰包装の拒否や食品ロスの削減がその代表例です。                                                       |
| 問6  | 答え 4<br>清朝最後の皇帝である溥儀を元首に立てたが、政治の実権は日本の関東軍が握っていた。                                | 満州国は形式上、清の皇帝だった溥儀をトップとする独立国家でしたが、軍事や行政の重要な決定は日本の関東軍が行っていました。国際連盟はリットン調査団の報告に基づき、満州国を日本の傀儡国家であるとみなして承認しなかったため、日本はこれに反発して国際連盟を脱退することとなりました。当時の日本国内では、新聞やラジオが軍の行動を支持する報道を繰り返したこともあり、多くの国民が満州進出を支持していました。 |
| 問7  | 答え 3<br>降水量の多い長江流域など南部では稲作が盛んで、比較的乾燥した華北平原など北部では小麦の生産が盛んである。                    | 中国の農業は、年降水量の違いによって生産地域が明確に分かれています。一般に「南稲北麦」と呼ばれ、温暖湿潤な南部（長江流域以南）では米の生産が、年降水量が少なく乾燥している北部（華北や東北地方）では小麦などの畑作が盛んに行われています。                                                                                 |
| 問8  | 答え 4<br>開発途上国が自らの力で経済的な自立を果たし、持続可能な発展を行えるようにするため                                | 物資や資金を一方向的に与えるだけでなく、技術や知識を伝えることで、援助を受ける国の人々が自分たちの力で国を豊かにしていく「自助努力」を支えることが日本の国際協力の特徴です。これにより、一過性の支援に終わらず、長期的な社会の発展を促す狙いがあります。                                                                          |
| 問9  | 答え 4<br>大名に多額の費用を負担させて経済力を削ぎ、反乱を防止するため                                          | 参勤交代の制度は、大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させることで、幕府に反抗するような軍勢力を蓄えさせないようにする目的がありました。また、妻子を人質として江戸に置くことで、心理的にも反乱を抑止する効果がありました。                                                                                        |
| 問10 | 答え 2<br>多種多様な常緑広葉樹が密生する熱帯雨林が広がっている                                              | 気温が常に高く、毎月200mm以上の多雨となる環境は、植物の生育に非常に適しています。このような地域では、一年中緑の葉を蓄えた背の高い木々が密集する「熱帯雨林（セルバやジャングルなど）」が形成されます。他の選択肢は、乾燥帯や寒冷な気候の特徴を述べたものです。                                                                     |
| 問11 | 答え 2<br>幕府を完全に廃止し、天皇の下に新しい役職を設けて権力を一本化すること                                      | 大政奉還だけでは徳川家の政治的影響力が残る可能性があったため、倒幕派は天皇の名を借りてこの号令を発し、幕府という組織そのものを消滅させました。これにより、徳川家を排除した形での新政府樹立が宣言されました。選択肢にある領地・領民の返還は「版籍奉還」、藩の廃止は「廃藩置県」の説明であり、この号令の段階ではまだ行われていません。                                    |